

ルネサス エレクトロニクス株式会社 設立に向けた合併契約の締結について

2009年 12月 15日

**NECエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 山口 純史
株式会社ルネサス テクノロジ 代表取締役 取締役社長 赤尾 泰**

Ⅰ. 合併契約のポイントの紹介

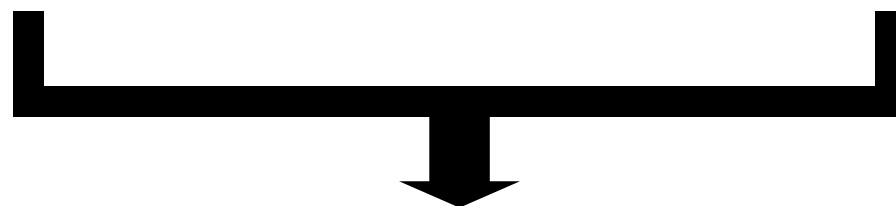
NECエレクトロニクス株式会社
代表取締役社長 山口 純史

統合新会社の会社名およびロゴマーク

株式会社ルネサス テクノロジ



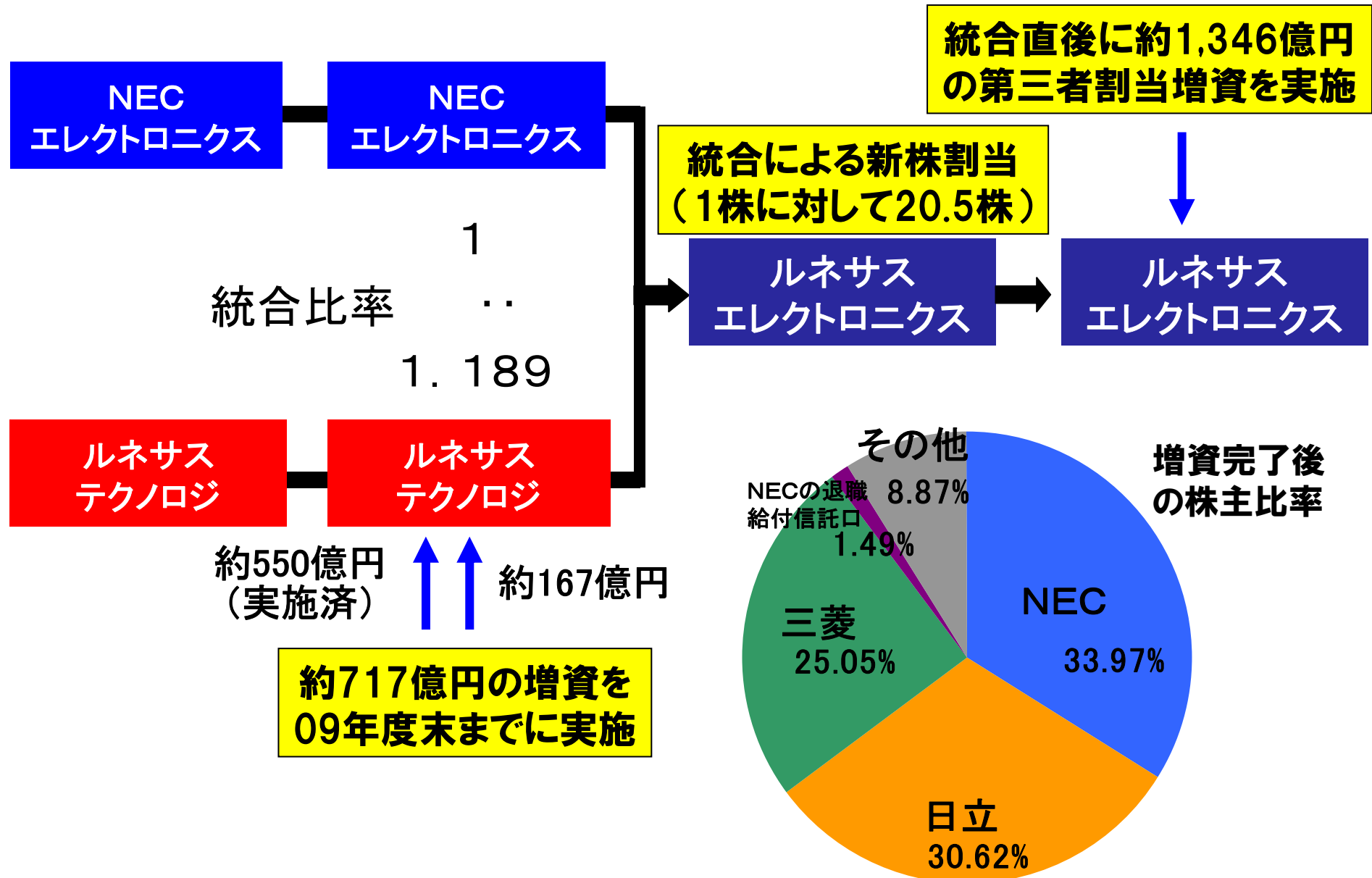
NECエレクトロニクス株式会社



ルネサス エレクトロニクス株式会社



合併前後の増資と最終的な株主比率の確定



合併時の株式割当比率の詳細

(株)ルネサス テクノロジーの株式1株に対して、NECエレクトロニクス(株)の株式を20.5株割り当てる

項目	株式数	備考
NECエレの発行済株式総数	123,500,000	①
合併による発行株式数	146,841,500	②=①×1.189(統合比率)
内 日立への割当	80,762,825	②×55%(出資比率)
内 三菱への割当	66,078,675	②×45%(出資比率)
合併日前日のルネサスの発行済株式総数	7,163,000	③(増資払込後)
割当比率	20.5	②÷③

※NECエレ:NECエレクトロニクス(株)、ルネサス:(株)ルネサス テクノロジー

合併直後の第三者割当増資の詳細

この増資計画(1株917円で実施予定)については、存続会社
NECエレクトロニクス(株)の合併承認総会に、議案として提案し、
特別決議を得る予定

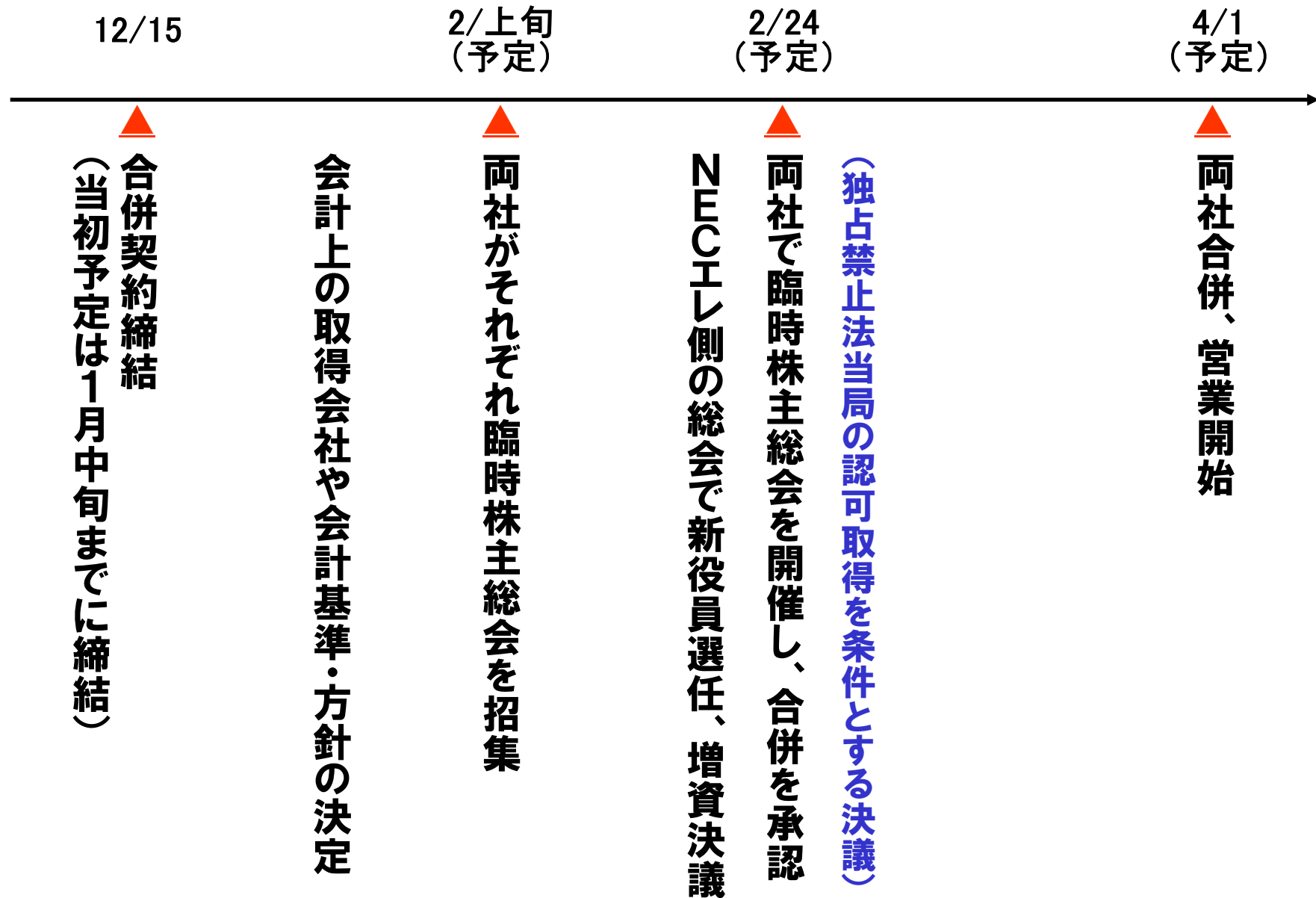
NECエレの現在の発行済総数	123,500,000株
合併に伴い発行される新株	146,841,500株(前頁)

統合後増資直前の発行済株式数	270,341,500株	①
----------------	--------------	---

統合直後 の増資	NEC引受	61,395,857株
	日立引受	46,962,923株
	三菱引受	38,424,210株
	合 計	146,782,990株

統合後増資後の発行済株式数	: 417,124,490株	(①+②)
第三者割当による希薄化比率	: 54.3%	(②÷①)

今後の統合スケジュール



統合新会社の経営体制(取締役)

合併日以降の取締役会は、存続会社であるNECエレクトロニクス(株)の臨時株主総会での選任決議を経て、以下の11名の構成となる予定。

代表取締役会長	山口 純史 (現:NECエレクトロニクス(株) 代表取締役社長)
代表取締役社長	赤尾 泰 (現:(株)ルネサス テクノロジ 代表取締役 取締役社長)
取締役	小倉 和明 (現:(株)ルネサス テクノロジ 合併準備室長)
取締役	加藤 正記 (現:NECエレクトロニクス(株) 取締役 執行役員常務)
取締役	矢野 陽一 (現:NECエレクトロニクス(株) 取締役 執行役員常務)
取締役	岩熊 省三 (現:(株)ルネサス テクノロジ 取締役 人事・総務統括部長)
非常勤取締役	中村 豊明 (現:(株)日立製作所 代表執行役 執行役専務)
非常勤取締役	遠藤 信博 (現:日本電気(株) 取締役 執行役員常務)
非常勤取締役	橋本 法知 (現:三菱電機(株) 取締役 常務執行役、 (株)ルネサス テクノロジ 非常勤取締役)
非常勤取締役	松倉 肇 (現:日本電気(株) 経営企画部長、 NECエレクトロニクス(株) 非常勤取締役)
非常勤取締役	未定 (ハイテク分野に詳しい有識者に依頼する予定)

注:現職のNECエレクトロニクスの取締役以外の取締役は、2月24日開催予定の臨時株主総会において、また、代表取締役は、4月1日開催予定の取締役会において正式に決定される予定です。

統合新会社の経営体制(監査役)

合併日以降の監査役会は、存続会社であるNECエレクトロニクス(株)の臨時株主総会の決議を経て、以下の4名での構成となる予定。

監査役(常勤、社内) 鈴木 啓士 (現:NECエレクトロニクス(株) 監査役)

監査役(常勤、社外) 川村 廣樹 (現:NECエレクトロニクス(株) 監査役)

監査役(非常勤、社外) 柴田 保幸 (現:NECエレクトロニクス(株) 監査役)

【新任】

監査役(常勤、社内) 西 淳一郎 (現:(株)ルネサスデザイン 取締役 業務支援本部長、
兼 (株)ルネサステクノロジ 財務統括部 エクゼクティブ)

※NECエレクトロニクス(株)の現在の非常勤監査役の内1名は、合併日の前日に退任の予定

II. 統合新会社の事業運営方針

株式会社ルネサス テクノロジ
代表取締役 取締役社長 赤尾 泰

統合新会社の事業方針と経営目標

事業方針

- 統合シナジー効果を具体化することにより、各種の経営効率を早期に改善する。
- 効率化で捻出したリソースを基に、海外事業拡大に注力する。
- グローバルな事業の成長による売上・収益の拡大を目指す。

経営目標

- 健全なバランスシートでスタート。
- 統合初年度より営業黒字化を目指す。
- 必要な構造改革を統合の初期段階に完遂し、2年目には当期黒字化を目指す。
- 中期的な営業利益率(売上高比)は2桁を目指す。

統合新会社のバランスシート

(株)ルネサス テクノロジ

【日本基準、2009年9月末】

現預金 1,060	流動負債 3,735
その他流動資産 2,747	
固定資産 3,036	固定負債 (除退職給付引当金) 1,116 退職給付引当金 275 純資産 (含少数株主持分) 1,716

(単位:億円)

6,843

約550億円
の増資実施済

NECエレクトロニクス(株)

【米国基準、2009年9月末】

現金及び同等物 895	流動負債 1,453
その他流動資産 1,286	
固定資産 2,474	固定負債 1,471 (除退職・年金費用) 未払退職・年金費用 808 純資産 (含非支配持分) 923

4,655

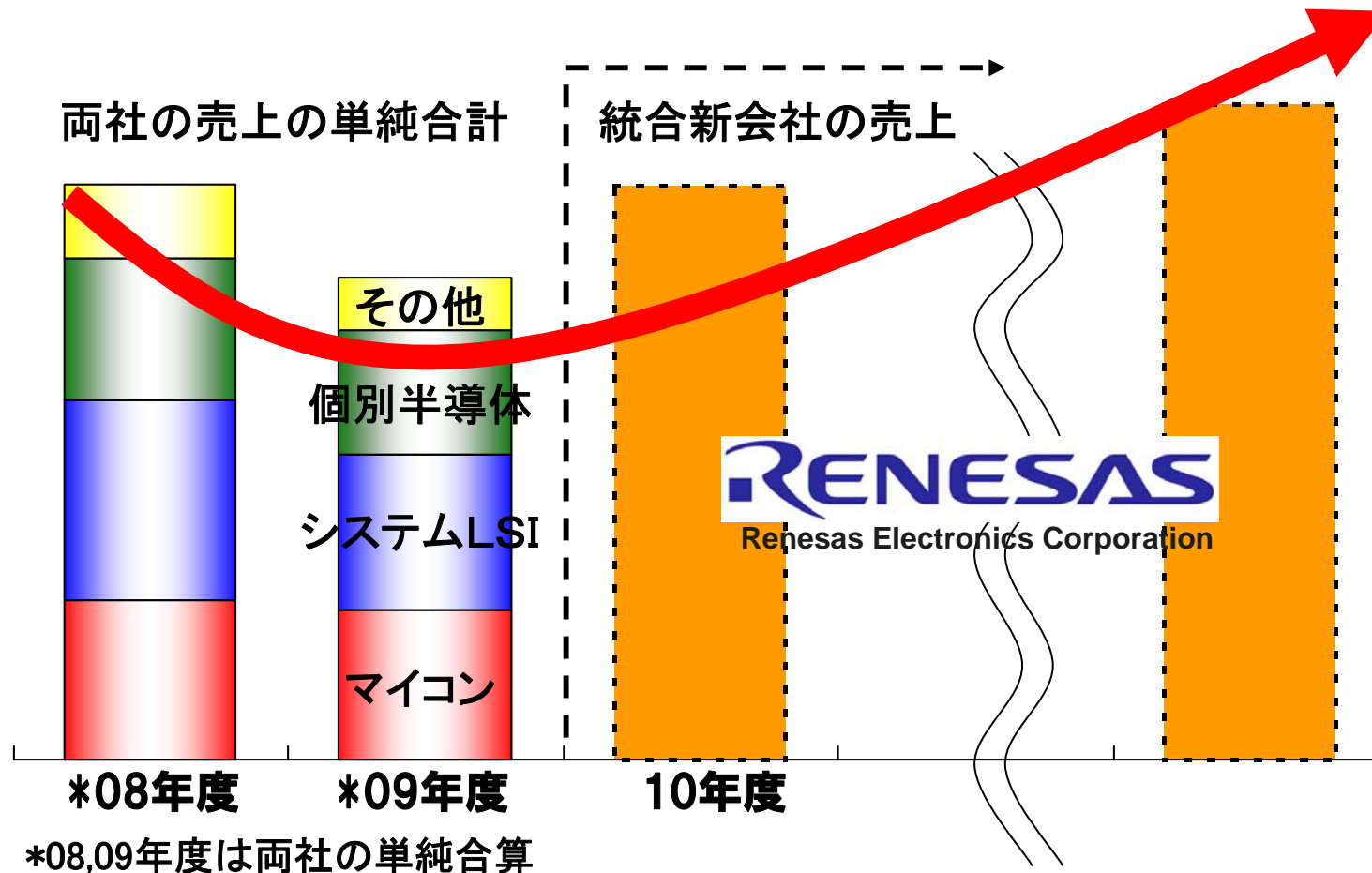
- ◆ ルネサスへの追加増資約167億円(2009年度中)
- ◆ 両社の2009年度下期の期間損益等による変動
- ◆ 両社の会計基準、会計方針整合による変動
- ◆ 統合日実施の約1,346億円の第三者割当増資

統合
初日
までの
変動

統合新会社は健全なバランスシートでスタート

統合新会社の製品別売上高と売上拡大方針

- マイコン、システムLSI、個別半導体(アナログ&パワー)の3事業を柱とする。
- マイコン、システムLSI、個別半導体(アナログ&パワー)をキットソリューションとして提供し、安定した売上拡大を目指す。



マイコンを軸に3つの製品群を強化し、世界の顧客へ

全世界のお客様の満足度を向上

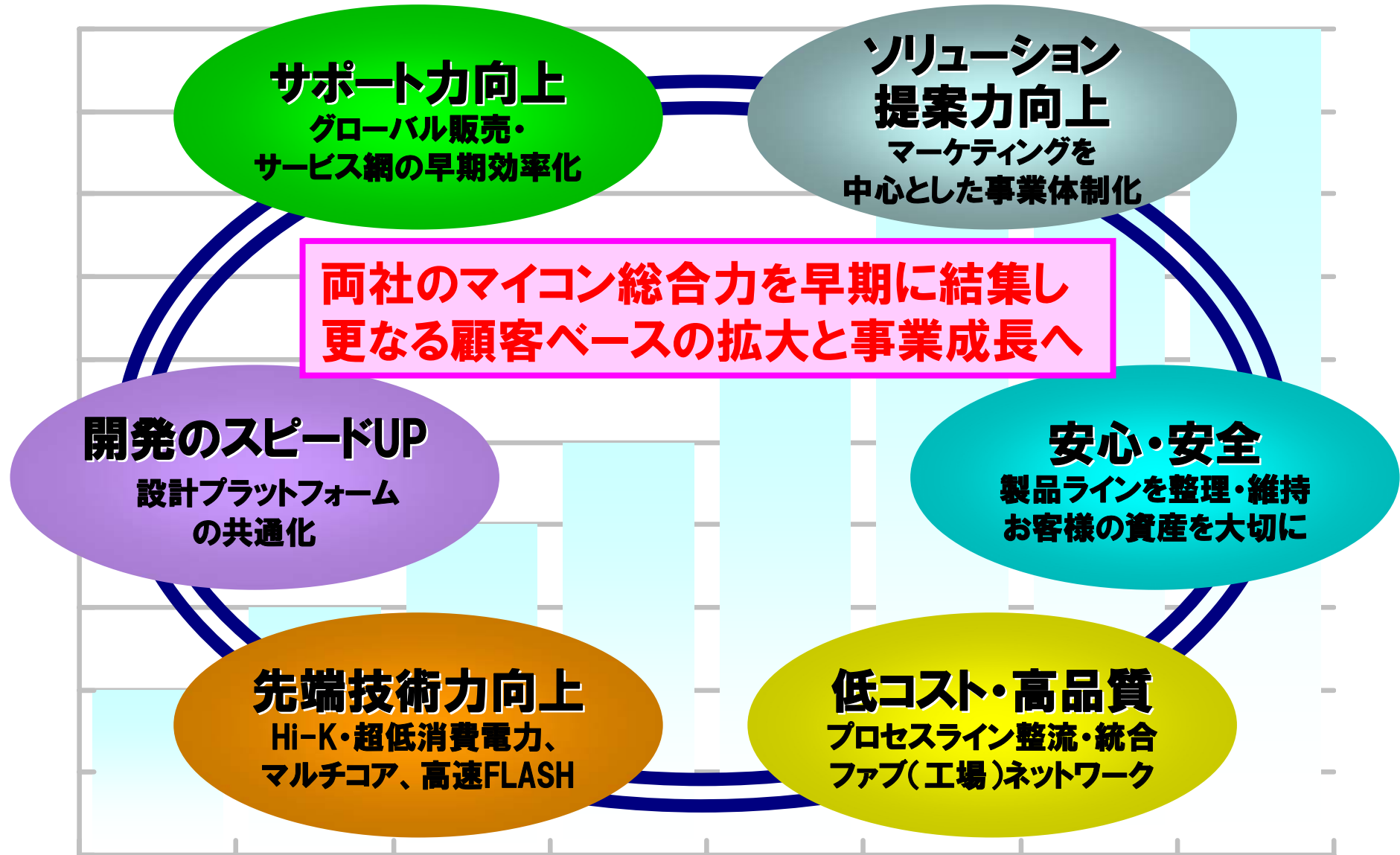
マイコンを軸にシステムソリューションを提供

グローバルNo.1の
マイコン

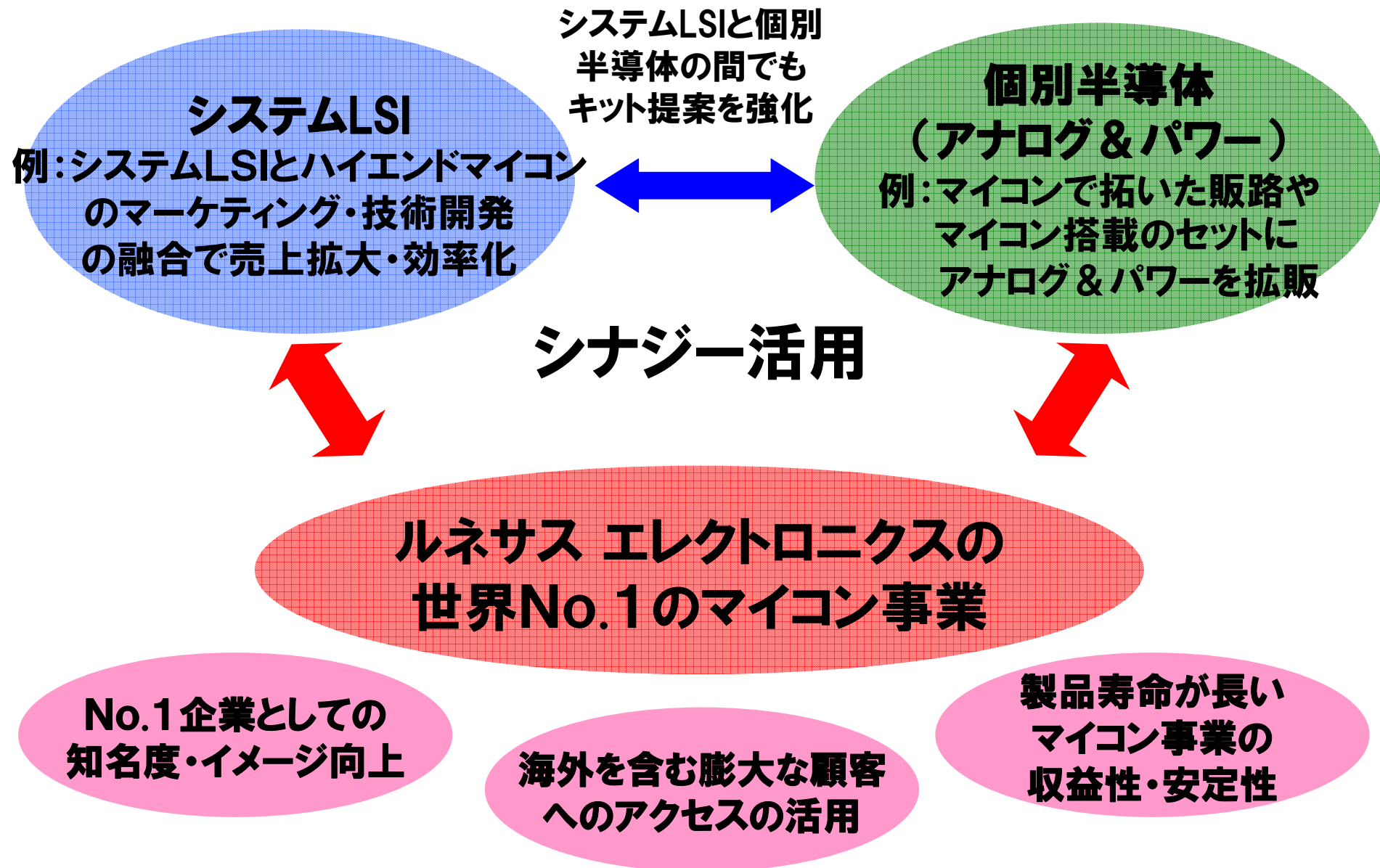
世界で戦える強い
システムLSI

広いカバレッジの
個別半導体
(アナログ&パワー)

マイコン事業の強化方針



マイコンをコアとしたシナジー活用による強い製品の創出



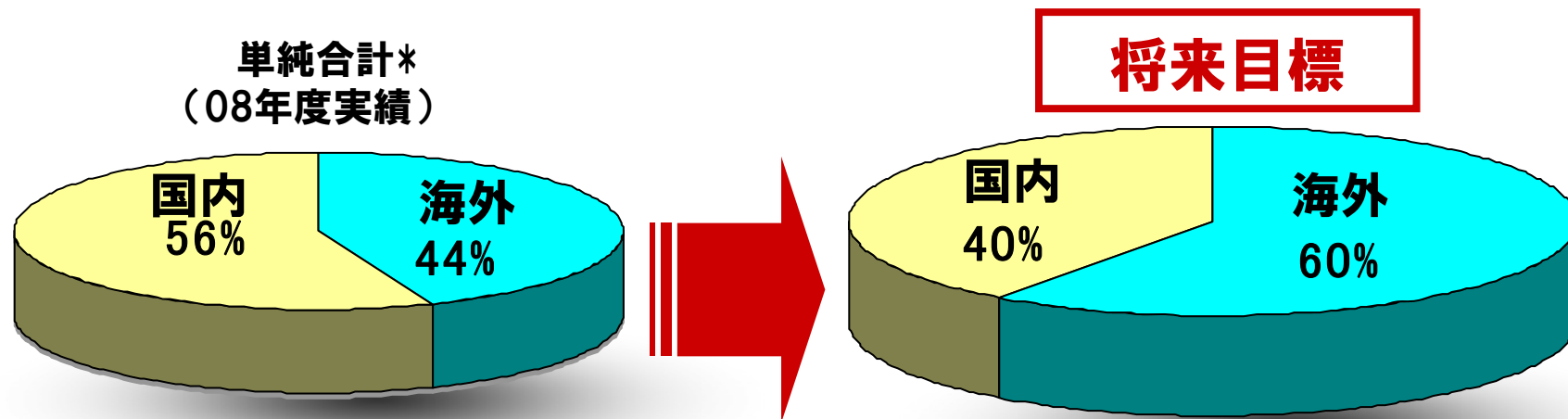
グローバルマーケットでの成長

➤ グリーンエコノミー分野での海外売上拡大

- スマートグリッド分野 電力メーター用マイコン、無線半導体
- 省エネ家電分野 インバータ制御マイコン、LEDドライバ
- エコカー分野 モーター/電源制御マイコン、光半導体

➤ 新興国市場向けのマーケティングと製品開発強化

- 世界各地でのローカルマーケティング・現地向け製品企画の強化
- BRICS向けなどローコスト製品の拡大



*半導体売上の地域別構成比

統合後100日以内に、統合新会社の新方針を「具体化」

- ✓ 最初の100日間の最優先プロジェクト
- ✓ 専任チームで強化分野の「仕分け」を実施
- ✓ 改革をトップダウンで強力に推進

固定費の削減

**成長市場での
事業拡大へ**

具体化する方針例

- 両社の設計・開発プラットフォーム共通化による開発効率化と選定した重点強化分野・製品への開発リソースの集中投下
- 両社の生産拠点の相互活用による稼働率向上と設備投資抑制
- 両社の購入資材統一、生産委託数量増などによるコストダウン
- 両社の販売拠点の統合による効率化と、海外の販売力強化に向けたローカルマーケティングと顧客サポート体制の強化
- 両社の物流ネットワーク、情報システム等のインフラ一本化によるコストダウン

統合新会社の目標

世界で勝てる強い製品の創出

グローバルマーケットでの成長

構造改革の継続的な推進

顧客価値の向上を通じた企業価値向上へ



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、両社の現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

また、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利はNECエレクトロニクス株式会社および株式会社ルネサス テクノロジーに属します。